

- 詰替式でコストダウン
- 自転車用空気入れ(米式)でエア充填が可能
- 逆さ噴射もOK

取扱説明書

※本製品を正しく安全に使用して頂くために、本取扱説明書を必ずお読みください。ご使用後も大切に保管してください。

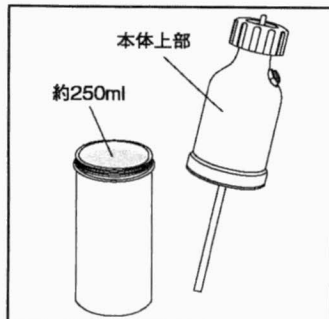


警告 ●本製品には、必ず弊社指定の原液を使用してください。異種製品のご使用や混合は、有毒ガスの発生や製品の故障につながる恐れがあり大変危険です。ご使用前に使用方法・使用上の注意事項をよく読み、正しく使用してください。

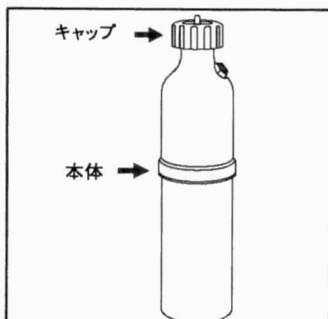


リフィーラーの開閉をスムーズにするために、ネジ部分にオイルやグリスを塗布して使用してください。リフィーラー本体を開く際は、必ず先にゆっくりとキャップを緩め、エアーを抜いてください。

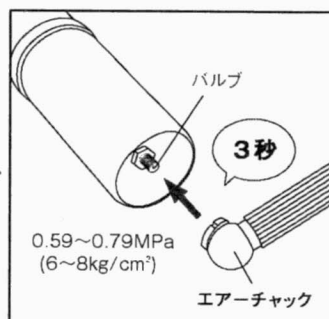
■コンプレッサーでの充填・使用方法



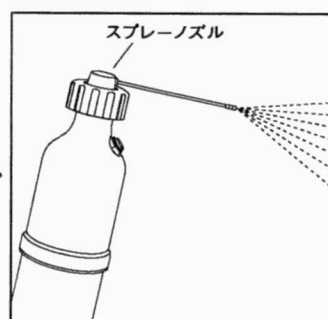
①本体上部を回して取り外し、液(弊社指定品)を入れてください。液は約250mlまで入れることができます。



②本体上部を取り付け、本体とキャップが最後まで締まっている事を確認してください。※締まっていない場合、エアー充填の際に中の液が噴き出す恐れがあります。



③エアーチャックを、本体の底のバルブに押し当て、エアーを充填してください。約3秒で満タンになります。※コンプレッサーの圧力は0.59~0.79MPa(6~8kg/cm²)に設定してください。



④付属のスプレーノズルを取り付け、噴射方向を確認し、目的物から約20cm離してスプレーしてください。噴射力が弱くなった場合は、エアーを追加で充填してください。

⚠ 注意事項

<液の補充時の注意事項> ●中身が残っている場合は、本体、キャップを開けないでください。缶内部の圧力が高い場合、本体やキャップが吹き飛ばす恐れがあり大変危険です。●液を補充する際は中身を使い切り、キャップをゆっくり少しずつ回してエアー(残圧)を完全に抜いてください。●本体を開ける際は、先にキャップを緩め、残圧がないことを確認してください。缶内部に圧力が残っている場合、本体が開きにくくなっており、無理に開けようとすると危険です。●液は約250mlまで入れることができます。入れすぎないように注意してください。●種類が異なる液を混合しないでください。●液を入れる際にゴミやホコリ等が混入しないようにしてください。スプレーの目詰まりや故障の原因となります。

<エアー充填時の注意事項> ●エアー充填の際は本体、キャップをしっかり締めてください。締まっていない場合、エアー充填時に中の液が噴き出す恐れがあります。●エアー充填には市販のエアーチャックを使用してください。(特殊な形状のエアーチャックは合わない場合があります。)
●エアーコンプレッサーの圧力は0.59~0.79MPa(6~8kg/cm²)に設定してください。●エアーは3秒以上、充填しないでください。●リフィーラーの内圧が一定量を超えると圧力調整装置が作動し、リリースバルブから液が噴き出します。*1 噴出した液が目や顔にかからないように注意してください。●リリースバルブから液が噴出した場合、追加でエアーを充填しないでください。過剰な圧力がかかると、リフィーラーの破裂や故障の原因となり大変危険です。●リフィーラーからエアーや液が漏れたり、破損やその他の異常がある場合は使用を中止してください。

<使用上の注意事項> ●人体に向けて使用しないでください。●使用の際は通風の良い所で使用してください。●火気(静電気や電源等による火花を含む)のある所、密室、酸化した液が滞留しやすい所では使用しないでください。●リフィーラー本体の開閉時にキシミ音が生じてきたら、ネジ部分にオイルやグリスを塗布してください。

<保管上の注意事項> ●リフィーラーに液を入れたり、エアーを充填した状態のまま、長期保管しないでください。●保管の際は子供の手の届かない所に置いてください。●直射日光の当たる所や高温になる所、錆の発生しやすい所に置かないでください。長期間保管する際は、防錆油を塗るなどの防錆処理をお勧めします。

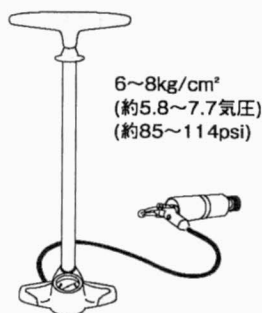


■自転車用空気入れ(米式)での充填方法

●本製品は市販の自転車用空気入れでもご使用頂けます。(米式のみ)

- ①上記「コンプレッサーでの充填・使用方法」の①、②と同じ要領で、リフィーラーに液(弊社指定品)を入れてください。
- ②本体の底のバルブに空気入れの先端を装着してください。
- ③本体を安定した場所に置いてエアーを充填してください。圧力計の針が6~8kg/cm²を指した時点で、エアーの充填を止め、リフィーラーから空気入れを取り外してください。

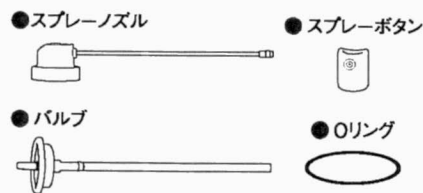
※使用できる空気入れは米式のみです。※6~8kg/cm²(約5.8~7.7気圧、または 約85~114psi)の圧力で使用してください。※上記以上の圧力で充填すると故障の原因となり危険です。



※圧力計付きの空気入れを使用してください。

■部品

※部品は消耗品です。劣化や破損等がみられる部品は速やかに交換してください。



●最初にセットされているバルブ、OリングはオイルやAZパーツクリーナー用としてご使用頂けます。

※弊社指定 詰替液

- CKM-001超極圧・水置換オイル
- KM-001極圧・水置換オイル
- 水置換オイル
- Z-45オイル
- パーツクリーナーブラック
- 滑るブルー(シリコンスプレー)
- その他、お問い合わせください。